

機械器具 09 汎用 X 線診断装置用電動式患者台 (40655000)

一般医療機器 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器

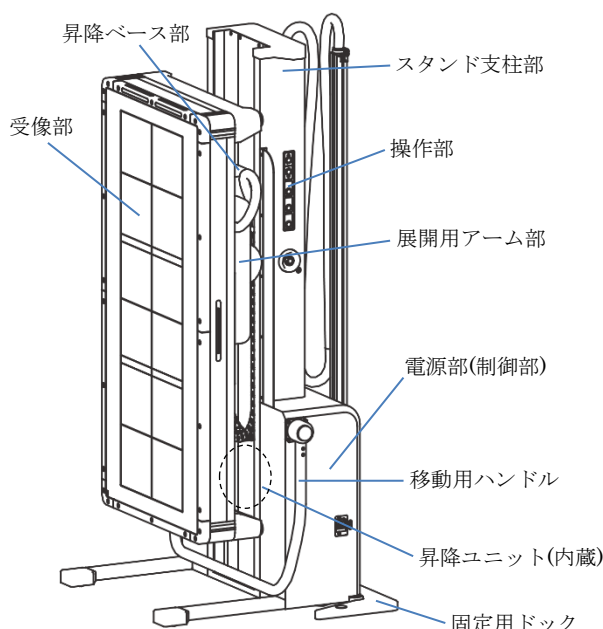
電動式撮影台 FM-PL 1

【形状・構造及び原理等】

1) 構成

本装置は以下のユニットにより構成される。

- (1) 受像部
- (2) 昇降ベース部
- (3) スタンド支柱部
- (4) 操作部
- (5) 展開用アーム部
- (6) 移動用ハンドル
- (7) 昇降ユニット(内蔵)
- (8) 固定用ドック
- (9) 電源部(制御部)



2) 電氣的定格

定格電圧	AC 100V
周波数	50/60Hz
電源入力	0.2KVA
保護の形式	クラス1
保護の程度	B型
電源コード	3芯ケーブル

3) 本体寸法及び重量

寸法 (mm)	幅 1404 (天板横位置)
	奥行 1203
	高さ 2195 (MAX)

上下動ストローク (mm)

受像部中心 (床面から) 760~1420

重量 約 290Kg

4) 作動・動作上の原理

・上下動機構部

昇降方式	: モーター電動式
昇降操作	: 操作パネル

・受像部展開機構部

チルト方式	: モーター電動式
チルト操作	: 操作パネル

受像部の上下動

: 操作部の受像部 UP/DOWN スイッチを ON/OFF することにより昇降モーターが動作し、受像部が上下動します。
このスイッチは押している時だけ動作するデッドマン方式です。

受像部の回転

: 受像部を操作部の回転スイッチが点灯するまで上昇させます。回転スイッチを押すと受像部のロックが解除され受像部を回転させることができます。回転スイッチを離すと受像部にロックがかかり、任意の位置で受像部が固定します。
このスイッチは押している時だけ動作するデッドマン方式です。

受像部の立位・臥位モード

: 受像部を 90° 回転させた後、操作部の臥位モードスイッチを押し続けます。最初に受像部が床と水平に向きを変えます。続いて床面に接するまで受像部が下降し、床面と接すると装置が停止します。
このスイッチは押している時だけ動作するデッドマン方式です。

装置の移動

: 装置の下側に折り畳まれているアームを起こすと床固定用ドックとの固定が解除され装置を床面に沿って移動させることができます。

【使用目的又は効果】

立位及び臥位による X 線一般撮影を効率的に行うことを目的とした撮影台です。

【使用方法等】

使用環境条件

温度	: +10℃~+40℃
湿度	: 30%~75%RH (結露のないこと)

取扱説明書を必ずご参照下さい。

設置上の注意

設置時は固定用ドックに必ずアンカー固定を行なうこと

詳細は取扱説明書を参照してください。

操作方法

- ① 操作部の受像部 UP/DOWN スイッチを ON/OFF することにより受像部が上下動します。
- ② 受像部を操作部の回転スイッチが点灯するまで上昇させます。回転スイッチを押すと受像部のロックが解除され受像部を回転させることができます。
- ③ 装置の下部に折りたたまれているアームを起すと床固定ドックとの固定が解除され、装置を床面に沿って移動させることができます。
- ④ 受像部を 90° 回転させた後、操作部の臥位モードスイッチを押し続けると、最初に受像部が床と水平状態になり、さらに下降して受像部が床面上に設置され停止します。

詳細は取扱説明書を参照してください。

受像部の仕様

富士フイルムフラットパネルセンサー
DR-ID1305SE 搭載可 (DR-ID1300 構成品
薬事認証番号:226ABBZX00149000)

フォトタイマー : 適応無し
グリッド : 無し (装着可能)

【使用上の注意】

警告

設置時は、固定用ドックを必ずアンカー固定すること。

禁忌・禁止

この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。

重要な基本的注意

- ① 検査を開始する前に装置に異常がないこと、構成品、付属品が確実に固定されていることを確認すること
- ② 検査前に患者の位置、状態をよく確認すること。

高齢者適応

高齢者は握力など体力に問題がある場合は X 線防護衣を着用した介助者を付けるなどして検査に臨むこと。

妊婦・産婦、授乳婦及び小児への適応

- ① 妊婦及び妊娠の疑いのある者及び授乳中の者へ使用する場合は医師の指示のもとで慎重に行うこと
- ② 小児の検査の場合は X 線防護衣を着用した介助者を付けること。

その他の注意

この装置を廃棄する場合は、産業廃棄物となります。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。

【貯蔵方法及び有効期間等】

使用耐用年数 (自主基準)
指定された保守点検を実施した場合
7 年

【保守点検に係わる事項】

1) 使用者による保守点検事項

項目	点検頻度	点検内容
目視点検	始業時	キズ、変形、汚れ、等の異常の有無 製品上や周囲に障害物の有無
動作点検	始業時	動作不良、異音、引っ掛り、等の異常の有無
ガタ、ゆるみ、等	月 1 回	各部のガタ、ゆるみ、等が発生していないか
グリス切れ、ホコリ等	月 1 回	駆動部にゴミ、ホコリ等が溜まっていないか グリス・オイル切れが発生していないか

2) 業者による保守点検事項

項目	点検時期	点検内容
定期メンテナンス	年 1 回	各部のチェック、調整、増締め、注油、グリスUP、部品交換、等

* 保守契約、あるいは定期的なスポット点検依頼をして頂く様にお願いします。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

住所 : 埼玉県川口市弥平 2-15-15
氏名 : 株式会社 大林製作所 川口工場
連絡先 : 埼玉県川口市弥平 2-15-15
株式会社 大林製作所 川口工場
TEL (048) 222-3800
FAX (048) 222-4074

製造業者

住所 : 埼玉県川口市弥平 2-15-15
氏名 : 株式会社 大林製作所 川口工場

取扱説明書を必ずご参照下さい。